平川市の財政状況と今後の考え方（令和４年度）

－ 一般質問のポイントと質疑応答 －

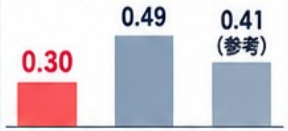
財政は健全に推移しているが、依然として財政の硬直化が課題。将来に向けて、持続可能な財政運営と人口減少対策を両立していく。

1 市の財政の現状と主な課題（議員の指摘）

自主財源が少なく、依存財源に頼る構造



財政力指数（令和４年度）



全国平均より **1.9ポイント低い**

歳出は大型事業や経費の増加

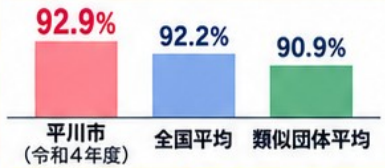
- 本庁舎の改築
  金田小学校の改築・改修
  尾上分庁舎改修 など
- 公共施設の維持管理費
  業務委託料（物件費）
- 市単独の扶助費
  （子育て支援 など）

基金の取崩しが長期化する見込み

2 経常収支比率の状況（財政の弾力性）

経常収支比率とは？

毎年の確実な収入のうち、毎年必ず支払う経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ使っているかを示す指標。90%以上で財政が硬直化しているとされる。（数値が低いほど余裕がある）



全国平均より +0.6ポイント
類似団体平均より +2.0ポイント
➡ **依然として高く、財政は硬直した状態**

主な要因

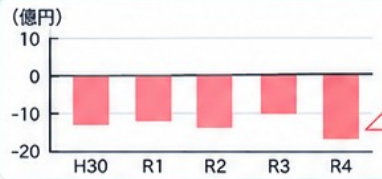
- 子育て支援など市単独の扶助費の増加
- 物価高騰、社会保障費の増加
- 本庁舎建設や学校改修などによる公債費の増加

3 実質単年度収支の状況

実質単年度収支とは？

単年度収支に基金積立額などの黒字要素を加え、基金取崩し額などの赤字要素を差し引いたもの。これが赤字の場合、貯金（基金）を取り崩してやりくりしている状態を示す。

過去5年間の実質単年度収支（当市）



過去5年間
すべてマイナス
＝基金の取崩しで財政を維持

4 基金の状況（令和４年度）

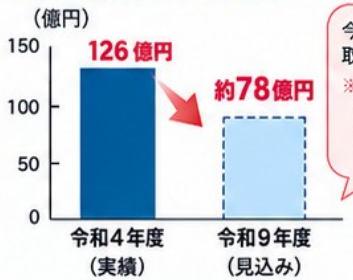
基金残高 合計 126億円

- **財政調整基金** 約27億円（標準財政規模の25.6%）
  全国的な適正水準（10%程度）より高いが災害への備えとして必要
- **公共施設等整備基金** 約60億円
  将来の公共施設の維持管理・更新等のために保有
- **その他の基金** 約39億円

合計126億円（令和4年度末）

5 基金の今後の見通し

財政運営計画による見込み



今後も基金の取崩しが続く見込み
※決算剰余金の積立てを加味していないため、実際の残高は上振れする可能性あり

6 主な質疑応答の内容

(1) 財政構造の弾力性（経常収支比率の改善策）

Q 議員の質問

経常収支比率が高く、今後も上昇が懸念される。どのように改善に取り組んでいるのか、また今後の取組は？

A 市長の答弁



- 税収の確保
- 公債費の繰上償還の実施
- 補助金などの事業効果の検証と、形骸化した事業の見直し

➡ **今後も経常収支比率は上昇が見込まれるが、引き続き改善に取り組む。**

(2) 実質単年度収支（赤字の要因と対策）

Q 議員の質問

過去5年間すべてマイナスだが、その要因と今後の対策は？

A 財政部長の答弁



- 決算統計上の実質単年度収支は基金積立額が考慮されていない。
- 令和４年度は、前年度の決算剰余金5億円を財政調整基金に、1億6千万円を公共施設等整備基金に積立て。
- 統計上は▲3億9千万円だが、積立額6億6千万円を加味すると**実質的には約2億7千万円の黒字。**

(3) 基金の必要性と今後の推移

Q 議員の質問

基金残高126億円は他自治体より多いのでは？
多額の基金を保有する必要性と今後の推移は？

A 市長の答弁



- 財政調整基金は、平成3年台風19号の災害復旧費約20億円を目安に確保。
- 全国の多くの自治体は標準財政規模の5～20%を積立水準としており、当市の25.6%は過大ではない。
- 公共施設等整備基金（約60億円）は、将来の施設の大規模改修等のため必要。
- 令和9年度末の残高は約78億円（見込み）。

(4) 移住・定住推進への基金活用

Q 議員の再質問

移住・定住推進にもっと力を入れるべき。事業費を捻出するため、事業の見直しやスクラップアンドビルドに加え、基金の切り崩しも検討すべきでは？

A 市長の答弁



- 基金の取崩しが続く見込みであり、第４次行政改革大綱に沿い、行政のスリム化を推進。
- 移住・定住は最重要課題。
- 住宅支援や宅地開発支援、子育て支援（保育料無料化、医療費助成、給食費無償化など）により、子育て世代の転入が転出を上回るなど一定の効果が出ている。
- 今後も健全な財政を維持し、選択と集中で積極的に取り組む。

7 今後の考え方・方向性

- 税収の確保（自主財源の強化）
- 事業の見直し スクラップアンドビルド
- 基金を計画的に活用し 将来の施設更新に備える
- 移住・定住の推進、子育て支援の充実

健全な財政を維持しながら、人口減少対策と持続可能なまちづくりを進める